

アートな麻布に魅せられて②6

一の橋交差点に新ランドマーク

マックスプラン あざぶじゅう MAXPLAN AZABU10ビルが誕生



麻布十番駅4番出入口を振り返った麻布通り沿い、一の橋交差点に、空に向かってつんつんと外壁が伸びた、一際目立つビルが目に入ります。不連続な並び方を見れば、建物好きはピンとくる、そうです、建築界の大御所、隈研吾氏設計のビルです。2020年10月竣工のMAXPLAN AZABU10ビルのオーナーで建築家でもある中村鈴子さんにお話を伺いました。



隈研吾(くまけんご)氏
Photo©J.C.Carbone



ALC板が不規則に並べられた外装。
日本の古くからある塀などに使用されている「大和張り」仕様



ビル最上階からさらに大空に向かって外壁のALC板が突き抜けるようにそり立つ

ゆらぎのある「麻布十番プロジェクト」始動

中村さんは、築60年以上の老朽化したビルを先代から受け継ぎました。ビル新築を「麻布十番開発プロジェクト」と命名し、洗練された麻布十番の地にふさわしい、街のアイコンになるような個性的な建築を目指しました。

設計・監理を隈研吾建築都市設計事務所に依頼。隈氏は言うまでもなく、新国立競技場、歌舞伎座をはじめ、港区でも高輪ゲートウェイ駅、東京ミッドタウンのサントリー美術館、根津美術館など名だたる建築物を設計した、日本を代表する建築家です。現場主義の隈氏は、「麻布十番の交差点に『ゆらぎ』のあるシンボルを建てましょう」と語りました。

ビル周辺は高速道路、階下に古川、さらに地下鉄、交差点に車や人が行き交う都心の密集地。常に物や人がゆらいでいる活気のある地であり、そこにふさわしい建物は、3D感のある厚みや高さの異なるパネルを組み合わせることで表現することとなりました。これぞ、隈氏の真骨頂。

建物の外観は、一見木々が張り巡らされている印象ですが、使用したのはALCというコンクリート。Autoclaved Lightweight aerated Concreteの略で「軽量気泡コンク

リート」という素材です。重たいイメージのコンクリートですが、普通のコンクリートの、4分の1ほどの軽さです。外壁に使用した場合、建物そのものへの負担が軽減し、運搬や取り付け作業もスムーズというわけです。同時に耐火性、防火性にも優れているので、木材と比較してもより安全です。

隈氏の提案で、100mmと150mmの厚さの違うALC板を交互に並べ、互い違いに組み合わせると、普通のALC板を並べたものと全く違う表情が出ました。「高さや厚みの異なる様々なサイズのパネルを組み合わせることで、街の多様さとエネルギーを表現できたと思います」と中村さん。

緑あふれるスペースで楽しく仕事を

9階建ての1階はサラダ専門店がオープン、2階は個人が独立して仕事を行うことができるコワーキングスペース、3階は貸会議室となっていて、全館高速Wi-Fiも整備されています。テレワークが増える中、好立地にあり、使い勝手のよいレンタルスペースが誕生しています。パーティーは渦巻き型のプランターに木々が植えられ、開放的な空間になっています。そして、天井はむき出しの空調機を敢えて見せることで、高さを強調しています。これらの内装も隈氏が担当。ダクトを隠さずに見せることがかっこいいという傾向は、大手の建設会社にも影響を与えています。

「今までは、きちんと並べられた詰め込み型のオフィスのレイアウトが効率よいと思われていましたが、その時代は終わりました。昨今のコロナの影響を見れば、一目瞭然。テレワークが主体となりつつあり、どこでも仕事ができる時代になっています。効率を上げるためには、曲線のあるレイアウトや楽しい雰囲気作りも重要な要素」。隈氏の主張に、中村さんも大きく頷いたと言います。緑がたくさん配置され、丸いプランターが並ぶスペースは、働く側にとっては楽しくさせてくれるのです。

最上階の9階は、今後飲食店がオープン予定です。夜になれば、東京タワー、六本木ヒルズ、そして高速道路の光の波がテラス席から望めます。是非、行ってみたいですね。

中村さんが目指す「麻布十番という洗練された街中で、ジュエリーのように光り輝く小さなビルが、この街の不可欠な存在へ」の思いを、大いに期待したいと思います。



あえてダクトを見せる天井の様子。高さが確保でき、一段と開放感が増す



円形のウッディーなプランターと緑を上手に利用した、コワーキングスペース
<https://maxplanazabu10.com>

MAXPLAN AZABU10ビル
〒106-0045 東京都港区麻布十番4-1-1 電話/03-6435-4297
<https://www.maxplan.jp>

●写真提供 ●
株式会社マックスプラン

(取材・文/高柳由紀子)





総合支所屋上から六本木ヒルズを背景に、学生時代は野球部、テニスサークル活動に参加。定期的にジムへ通い体を鍛えることにも余念がない。

昭和40(1965)年神奈川県に生まれる。現在も神奈川県横浜市に在住。武蔵工業大学(現、東京都市大学)工学部土木工学科を卒業、平成元(1989)年4月東京都特別区・港区に入区する。芝浦港南地区総合支所、本庁の街づくり支援部を経て、令和3(2021)年4月麻布地区総合支所長に就任。

百景

目指したのは、かたちに残る仕事。
人の役に立つことの大切さを未来に繋げていきたい。

麻布地区総合支所長 富田 慎二さん(56)

麻布地区で活躍する方々の仕事観を伺う「しごと百景」。

この春、令和3(2021)年4月麻布地区総合支所長に就任された富田慎二さん。人々が安全安心で暮らしやすい街をつくるというダイナミックなお仕事から、一人一人の区民の生活と密接に結びついている、麻布地区における事業の運営リーダーとしてのお話を伺った。

街をつくる仕事を経て

大学で土木工学科へ進学し、人々の暮らしを支える生活基盤、道路や橋、上下水道や公園等をつくることを目的とした土木事業を学ばれた。入区以来、技術者として30年余りの間、港区内に構造物を建造し、プロジェクトを計画・設計し、実際の工事施工・維持管理まで含めた幅広いフィールドで仕事をしてこられた。民間企業より地域の人々のために自分で考えた仕事ができるのでは、という思いでこの道に進まれた。

「例えば、設備が老朽化した橋の架け替え工事が終わり、古い橋が区民の皆さんが安心して渡れるように、きれいになったのを見ると喜びを感じます」と嬉しそうに語られる。

「日本におけるイタリア2001年」を記念して、同国から公園^{*1}が寄贈された。港区にイタリアのコンセプトに合う街が、汐留地区にあるということで東京都から依頼された事業である。この大規模事業は今でも深く心に残っていると話して下さった。

「大きかったのは言葉の壁でした。イタリア大使館ではイタリア大使ともお話をして全て通訳を通してのコミュニケーションでした。それぞれの強い思いがありましたが、諦めることなく丁寧に粘り強く交渉し、少しずつかたちになっていきました。今では公園にトスカナ州の代表的なお花や樹木、モニュメントをいただき美しく飾られています」



港区立イタリア公園 ©おおばまりか

作業を細かく確認することが最も大事な土木事業にあって、言語も文化も異なる海外の方との難しい業務を自己の成長の糧として精励してこられた。

総合支所長のお仕事

就任後僅か数週間、始まったばかりのお仕事を丁寧に答えて下さった。

「外向きの仕事と内向きの仕事があります。外向きの仕



港区基本計画・麻布地区版計画書

事は、地域でいろいろな行事が行われています。町会、自治会に呼ばれてご挨拶や激励をしたり、麻布地区は、五行政区の中で地区面積(3.79平方キロメートル)が小さな方ですが、小学校等の数が多いため行事も比較的多いです。内向きの仕事では、約6万人の区民の生活に関わる仕事です。福祉介護、区民窓口、戸籍、地域事業、まちづくり等、各々の管理にはそれぞれの部門の長がおりますが、その全ての最終責任者であります。そして区長の代理であることも一つの役割です」

区が仕事をするためには、区長が中心となって計画を立て条例や予算を区議会へ提案している。議会の決定に基づいて実際に仕事を行うために、区議会と協力し区民生活の向上に努めていらっしゃる。

麻布未来図

「小規模工事から、竣工まで数年かかる大規模計画工事までプロジェクトはさまざまです。令和5(2023)年3月末竣工予定の虎ノ門・麻布台プロジェクト^{*2}は虎ノ門五丁目から麻布台一丁目、六本木三丁目と施工地区面積は約8.1haと大規模な事業です」

小さなものから大きなものまで、あらゆる設備の建造は自然の地形の中につくられる。どの場所でも同じ条件で建設できるわけではない。地盤の硬さや土地の高低差といった諸条件が複雑に絡み合い、地形や環境と折り合いをつけながら安全に建設されていく。

「麻布地区特有の課題(土地の高低差)に取り組み、区民の社会を支える基盤をつくっていきます。その為には一人の力では何もできませんが団結することで成し遂げられます」



総合支所内を案内して下さる富田総合支所長

開発が一段落した後も老朽化や災害への対策等解決すべき課題は山積みしていることもある。安全安心で快適な暮らしのためには維持管理の作業に終わりはない。今まで培ってきた技術は絶えることなく受け継がれ、人々の社会を支え役立てられていく。所員202名を牽引する富田総合支所長のもと、Team of Azabu(チーム・オブ・アザブ)は始動したばかり。はじまりはここからなのである。



写真左より、まちづくり課長の久保光正さん、富田総合支所長、協働推進課長の瀧澤真一さん、区民課長の橋本誠さん、副総合支所長・管理課長の櫻庭靖之さん

^{*1} 港区立イタリア公園、東新橋一丁目10番20号汐留地区のイタリア街に隣接したイタリア式庭園。
<https://www.city.minato.tokyo.jp/shisetsu/koen/shiba/03.html>

^{*2} 虎ノ門・麻布台プロジェクト、メインタワーの高さは330mとなり日本一高いビルとなる。



麻布にある『^{たんす}箆笥』『^{が ぜんぼう}材木』『^{きたしんもんぜん}三軒家』『^{が ぜんぼう}我善坊』『^{きたしんもんぜん}北新門前』ってな一んだ？

麻布に来た時に、こんな経験をした方はいないでしょうか？

「住所は元麻布なのに掲示板が『宮村町』…？」
「竹の湯の近くって言ったら『竹谷町』だねって。南麻布じゃないの？」などなど。また、歩いていると携帯の地図にはない町名を見ることが…。一体どちらが本当なのでしょう？

かつて住所は町名と地番(土地の番号)で表示していましたが、年月が経つと土地の売買などで地番が無くなったり飛んだりして分かりにくくなり、郵便物や緊急車両が遅れるなど多くの支障が出ました。そのため昭和37(1962)年に「住居表示に関する法律」が交付され、麻布地区でも約50あった町名が現在の9つの名称に変更されました(除く麻布狸穴町・麻布永坂町)。麻布歴の長い方は既にお分かりだと思いますが、冒頭の麻布箆笥町(六本木)・麻布材木町(西麻布、六本木七丁目)・麻布三軒家町(元麻布)・麻布我善坊町(麻布台)・麻布北新門前町(東麻布)は麻布の旧町名です。

江戸・明治時代から続く旧町名は文学や落語にも多数登場します。旧町名の住所の表示がなくなって少し寂しいですが、今でも公園や交差点などに残っており、かつての町の表情を伝えてくれています。気になる町名の由来を調べたり歩いたりしてみると、もっと麻布の町を感じられるかもしれませんね。

そして旧町名を使った町会・自治会もたくさんあり、現在麻布地区には41の町会・自治会があります(2021年5月末時点)。その活動は私達が安

心して暮らせるよう防犯・防災・交通安全・清掃から、子供から高齢者まで楽しめるお祭り・お花見・花火大会や餅つきなどの行事まで多岐に渡ります。また、麻布町会・自治会連合会では総合支所と各町会の活動状況を共有したり、コロナ状況下での感染対策を踏まえた防災ワークショップを開催するなど行政・町会間も連携しています。

近年災害が多発したり、コロナの影響で従来の

コミュニケーションが取りづらくなっていますが、そんなときこそ町会は強い味方になります。「時間もない活動は大変そう…」「興味はあるけど知り合いもないし…」と思う方もいるかもしれませんが、回覧板や掲示板だけでなくSNSやホームページで情報発信を行ったり、zoomを活用している町会もあります。まずは気軽にのぞいてみるのはいかがでしょうか？

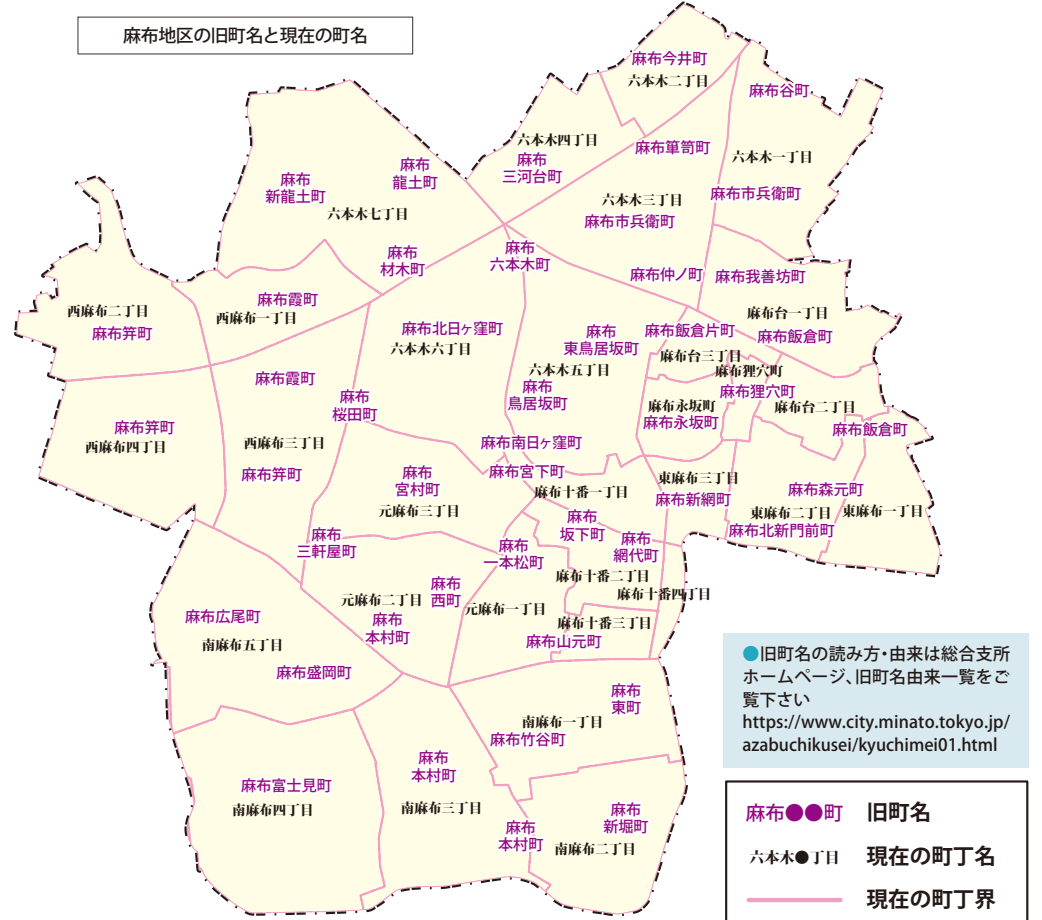
(取材・文/堀内明子)



港区町会・自治会ガイドブック
ガイドブックは各総合支所協働推進課協働推進係及び地域振興課の窓口でも配布しています

町会・自治会加入のお問い合わせ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係
電話/03-5114-8802 FAX/03-3583-3782

港区ホームページ 麻布地区総合支所 町会・自治会一覧・加入案内
URL : <https://www.city.minato.tokyo.jp/azabukyoudou/azabu/kurashi/chokai.html>



地図出典元:港区基本計画 麻布地区版計画書 平成27年度~平成32年度(2015年度~2020年度)

町会・自治会元気だより

01

麻布十番網代会

地域のみなさまへ

会長 渡辺 久さん

こんにちは。麻布十番網代会会長の渡辺 久です。従来、私が町会活動において特に重視することは以下の2点です。

- 1、町会に伝わる文化を次の世代に継承していく
- 2、町会行事を通して交流の機会を増やし、健康を維持していただく

現在のコロナ禍の状況においては、行政からのご指導の下で町会活動を行なっています。通常でしたら、「バスハイク」も大層人気で、参加人数も多いのですが、今年は残念ながら中止になりました。運営面では、直接会わずとも情報の連携・共有ができるよう努めています。その一例として、今回新たに班長と役員間でLINEグループを作りました。不慣れなスマホ操作に脱落しかける者もいますが、皆で協力し取り組んでいます。コロナが収束に向かえば、子ども達や町会員が楽しみにしている「秋祭り」「盆踊り」等を開催したいと思っています。

コミュニティ

文化部長 牧野祥隆さん

町会行事を楽しみにして下さっている方々を思うと、中止が相次ぐ現状に胸を痛めています。一人暮らしのご高齢の方が孤立しないよう、街で会った際はマスク着用の声かけを行うなどし、第三者が見守る町づくりを心がけています。

盆踊りMC “麻布十兵衛”こと 栢木興太郎さん

「Welcome to join with us for Bon-dancing!」

毎年9月に網代公園で開催される盆踊りは、近隣にお住いの外国の方々にも楽しんでいただきたいとの思いから、日本語と英語のバイリンガルで案内しています。麻布十番が、ますます国際交流が進んでいくことを願っております。



町会データ

- 加入世帯数 約750世帯
- 年中行事
 - 通年 清掃活動、みなとタバコルール、交通安全運動(春・秋)
 - 春 お花見、総会
 - 夏 ラジオ体操
 - 秋 バスハイク、盆踊り、秋祭り、御神輿の巡行、防災訓練
 - 冬 歳末警戒パトロール、新年会

まちの声

盆踊りの焼きそばは、僕のおじいちゃん達が作ってくれていました。友達にも人気で、とてもうれしかったです。昨年は中止になり寂しかったけど、今も良い思い出として残っています。

武田秀平くん(中学2年生)



ご存知でしたか? パート1 「網代町の由来」

ほうえい しぼしんあみ ぼりどめ ほんむら
宝永4(1707)年、芝新網町の一部が堀留の麻布本村分明地に代地を与えられて移転し、麻布新網町となりました。その後、享保8(1723)年に町の東側が御用地となったため、麻布坂下町表通りに代地を与えられ、宝永4年の代地を麻布新網町一丁目、享保8年の代地を麻布新網町二丁目としました。しかし、二丁目は拝領屋敷が入り交じり、沼地等で場所が悪かったことから、享保17(1732)年、奉行所に願ひ出て河岸通りに代地を与えられます。麻布新網町二丁目がニカ所となり、町名が紛らわしいので、元文3(1738)年、奉行所に願ひ出て享保8年に与えられた場所は麻布新網町代地の「網」と「代」を組み合わせると麻布網代町と町名を改めました。

●引用・参考文献
港区町会・自治会活動ガイドブック

防犯・防災

ご存知でしたか? パート2
「かまどベンチ」

一見、何の変哲も無いオレンジ色のベンチ。ところが、いざ鍵を開け蓋を取ってみると……



before



after

火きくべ、調理ができるかまどに早変わり

本年度は、8月20日に町会独自の防災訓練が行われる予定です。(※新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更の可能性あり)

婦人部 部長 たかとり 高取タカ子さん

会長主導のもと区に要望し、一昨年には防犯カメラを、昨年はかまどベンチを網代公園に設置していただきました。防災訓練では、かまどベンチにて婦人部による豚汁の調理実演を行いました。

婦人部 副部長 きみや 石黒公代さん

買い物の行き帰りに、よく公園を見回っています。孫がいることもあり、子ども達の安全を常に願っています。また、防災の意識も高まり、防災士の資格を取得しました。

環境美化

執行部 よしなり 吉成英二さん

パティオ広場での清掃活動は、大分前から越してきた10年くらい前から始めたかな。代々、町会の先輩方がされていたのを引き継いだんだよ。最近は、コロナの影響からか広場で酒盛りする人が増えてね。網代公園では、町会の方がずっと清掃してくれているし、やっぱり、よそから遊びに来た人にも綺麗な街と思ってほしいから。



(取材・文/武藤佳菜)

港区麻布地区総合支所だより



麻布地区
地域事業

「ルール違反ゼロの六本木へ」 合い言葉は ZERO ROPPONGI ~六本木安全安心憲章~

六本木からまちのルールを発信しています

六本木では、地域と連携し、「防犯」「環境美観」「路上喫煙」「道路使用」「営業活動」の5つの課題に対応したまちのルール「六本木安全安心憲章」を制定しています。

お問合せ／麻布地区総合支所
協働推進課協働推進係
電話／03-5114-8802

賛同いただける店舗・事業所等を募集しています

憲章に賛同いただける店舗・事業所等(以下、事業所等)を募集し、応募いただいた事業所等の名称を港区ホームページ等に公表します。詳しくは、以下の二次元コードリンク先または麻布地区総合支所で配布する募集チラシ等を参照してください。

賛同書の申請フォームは、こちらから
港区ホームページ <http://www.city.minato.tokyo.jp/>
六本木安全安心憲章

検索



ルール違反 ゼロの六本木へ。
合い言葉は、ZERO ROPPONGI
Toward a Roppongi with ZERO violations.
Our slogan is ZERO ROPPONGI

麻布地区
地域事業

あざぶ達人ラボ あざぶは魅力にあふれている

麻布の魅力を知り、伝えるために平成20年度からスタートした地域事業【あざぶ達人ラボ(当初はあざぶ達人倶楽部)】から、3つの部会の活動成果を中心にまとめた、冊子が発行されました。

冊子は麻布地区総合支所協働推進課で配布しております。

あざぶ達人ラボ3つの部会

研究部会

麻布の建築・地形・歴史・文化などを独自の視点で読み解きます。



地域との連携部会

地域事業「地域サロン〜ちょこっと立ち寄りカフェ〜」等に出向き、ミニイベントを開催しています。麻布の魅力や歴史を、遊びながら学べる「あざぶカルタ」も作成しました。



まちあるき部会

麻布地区の魅力を巡ってつたえる、散策マップを作成し、ガイドツアーを実施しています。



お問合せ／麻布地区総合支所協働推進課 地区政策担当
電話／03-5114-8812

麻布地区
地域事業

ファインダーをとおして、未来に向けた新しい麻布を発信していきます

麻布地区の昔の写真などを資料として収集し、定点写真を撮影し、麻布のまちの変化をパネルにして保存しています。過去にはタブレット端末越しにパネルを見ると、昔の風景や今のパノラマ風景が見られるような展示も！！

本紙『ザ・AZABU』でも麻布未来写真館と連携して【麻布の坂】を巡る記事を掲載してきましたが、今回ついにコラボレーション企画が実現しました！

麻布地区総合支所内にて【麻布未来写真館×ザ・AZABU】パネル展が開催されています。また協働推進課窓口にて、パネル展アンケートにご回答いただいた方には、「麻布未来写真館活動報告書」をプレゼントいたします！

開催日程 ~7月30日(金)まで

開催場所 麻布地区総合支所内

※状況によりパネル展示を中止している場合もございます。

お問合せ／麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
電話／03-5114-8812

麻布未来写真館パネル展

麻布未来写真館 × ザ・AZABU



都税のお知らせ

耐震化のための建替え、または改修を行った住宅(一定の要件を満たすもの)に対する固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

減免の期間と額は、下記のとおりです。

建替え	新築後新たに課税される年度から3年度分について全額減免(居住部分に限る)。ただし、減免の対象となる戸数は、建替え前の家屋により異なる。
改修	改修工事完了日の翌年度分から一定期間、居住部分で1戸あたり120㎡の床面積相当分まで耐震減額適用後の税額を全額減免。減免を受けるには申請が必要です。詳細は、HPまたは下記問合せ先へ。

お問合せ／港区にある物件について：港都税事務所 電話／03-5549-3800(代表)

都税を納付できるスマホ決済アプリを追加しました

令和3年5月6日から、都税を納付できるスマートフォン決済アプリが増え、さらに便利になりました。アプリ内で納付書のバーコードを読み取るだけで、いつでも、どこでも納付できます。詳細は、主税局HPをご確認ください。

https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/common/tozei_nouzei.html#L16

新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減のため、来所不要な手続をご利用ください

主税局では、納税者の皆様が都税事務所等に来所することなく、郵送やインターネット等でお手続できる仕組みを設けております。郵送や電子申告によるお手続、キャッシュレスによる納付方法等をぜひご利用ください。

買い物
するなら
地元の
商店街で

ザ・AZABUへの
ご意見・ご要望を
お寄せください

住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当へ。

●電話／03-5114-8812 ●FAX／03-3583-3782

地域情報紙「ザ・AZABU」は
ホームページからも
ご覧になれます。



「ザ・AZABU」は英語版も発行しています。

ザ・AZABU

●配布設置場所のご案内
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番、赤羽橋の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等
●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Staff
出石 供子
おおばまりか
大村 公美子
加生 美佐保
小池 澄枝
菅野 あゆみ
Mai S.
高柳 由紀子
田中 亜紀
田中 康寛
畑中 みな子
堀内 明子
堀切 道子
武藤 佳菜
八巻 綾子

編集後記

あれは何年前だったか—
偶然通りかかった網代公園では、盆踊りが開かれていました。沿道に溢れかえる人、人、人…… 落し物を告げる軽妙なアナウンス。中央の円では、首にコルセットをつけた女性までもが楽しそうに踊っていました。今回、麻布十番網代会の方々への取材を通して、あの日の光景が鮮やかに蘇ってきました。コロナが無事に収束し、再び盆踊りが開催される日が来ることを願っております。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。(武藤佳菜)

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。
年中無休/午前8時~午後8時 ※英語での対応もいたします。

電話／03-5472-3710 FAX／03-5777-8752
お問合せフォーム／<https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form.html>

“Minato Call” information service
Minato call is a city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752;
Inquiry submission form: <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form-inquiry.html>